

〈特集〉災害に備える

自助・共助・公助を考える

公助①

避難訓練を実施

9月26日に、水害を想定した避難訓練が実施されました。

今年は、対象範囲を宮下地区・千歳地区・本通地区に占冠地区を加えた72人の村民が参加し、役場職員、消防職員、消防団員など関係機関を含め総勢135人が占冠中学校に集まりました。

占冠地区は避難所である占冠地域交流館への避難が完了した後に占冠中学校へ移動しました。

避難完了後は、昭和37年8月の大水害について、当時災害対策本部の一員だった長谷川耿聰さんを講師に講演会が行われました。

長谷川さんは、台風第9号の集中豪雨が3名の死

者と被害総額12億円を超える大惨事となった当時の状況について、写真を交え詳しい説明が行われました。

また、参加者へ向けて、避難時に物を取りに戻って亡くなった方が出たことから「何をさしおいても生命が大事で、何もいらぬから逃げること」、避難時には食糧不足もあるが、「不平不満を言わず助け合うこと」、「公的機関の連携」など「自助・共助・公助」の重要性を改めて指南しました。

最後に、備蓄食糧のアルファ米を試食し、避難訓練を終了しました。



講演をする長谷川耿聰さん



《避難訓練の流れ》

8：30～災害対策本部設置
職員、消防団等招集
任務分担の確認

9：00～避難勧告
消防車、広報車巡回
避難者支援バス運行
物資搬入
避難開始
避難者の受付

10：15 避難完了
健康状態の確認

10：30～講演
備蓄食糧の試食



避難支援バス等による避難



徒歩による避難



避難者の受付・安否確認



健康状態の確認

自助・共助 地域で防災意識高める

<地域で実施された避難訓練を紹介>



10月3日、昨年に引き続き、トмам町内会
で実施。三角巾の使い方も学ぶ。



9月19日、初めて本通行政区で実施。大水
害の講演と消火器の使い方などを学ぶ。

防災対策・災害対策を考えるうえで「自助・共助・公助」という
考え方があります。

自助＝自分で自分を助けること

共助＝家族、企業や地域コミュニティで共に助け合うこと

公助＝行政による救助・支援のこと

防災の基本は、「自助」です。自分の命は自分で守る、自分のことは自分で助けるということです。

そのためには、事前の備えが必要です。緊急避難グッズや非常食を準備したり、家具の転倒防止対策をしたりと、いろいろなことが考えられます。各ご家庭に配布しています「占冠村防災ハンドブック」や広報紙記事などを参考にしながら日ごろから災害への備えを行ってください。

自助が防災の基本と言われるのは、まずは自分を守ることにより家族や友人・隣人を助けに行くことができるからです。「救助される人」ではなく、「救助する人」になること。それが自助の取り組みです。「救助する人」が多い地域は、防災に強い地域と言えます。

共助とは、自分や小さな共助である家族だけでなく、町内会や自治会などの小さな地域コミュニティ単位で、防災としての助け合い体制を構築する、災害発生時に実際に助け合うことを言います。

少しずつですが、地域で防災についての話し合いや避難訓練などが取り込まれてきています。地域で防災に関する話し合いや確認の場などをつくることからでも行っていきましょう。

公助②

村の防災備蓄状況

村では、備蓄倉庫や役場、各施設に防災の資材や物資を備蓄しています。主なものは次のとおりです。

なお、詳細は村ホームページ（トピックス「災害に備えて」）で掲載していますのでご覧ください。

- | | |
|------|--|
| 食糧 | ・アルファ米 259食（備蓄倉庫）
・缶入りパン 52個（備蓄倉庫）
・飲料水（500ml） 410本（備蓄倉庫）
24本（トмам支所） |
| 機材 | ・懐中電灯・照明器具（役場）
・発電機 3台（役場）
1台（占冠地域交流館） |
| 資材 | ・防水エコシート・土のう
・LPガス（8kg）（備蓄倉庫） |
| 暖房機器 | ・灯油ストーブ 4台
（双珠別住民センター、川添団地集会所、
美園地区集会所、占冠地域交流館）
・灯油携行缶（10L）4個（上記に同じ） |

物資 <救急・衛生用品>

- ・トイレトペーパー（備蓄倉庫）
- ・紙おむつ（乳幼児用・大人用）（備蓄倉庫）
- ・生理用品（備蓄倉庫）
- ・エマージェンシーシート 100枚（備蓄倉庫）
50枚（トмам支所）

<救助用具>（備蓄倉庫）

- ・救命胴衣・救命浮き輪・救命ボート
- ・スコップ（アルミ、剣先、角）

<緊急支援物資>（備蓄倉庫）

- ・消火器・灯油・経由・ガソリン

<避難施設用品>

- ・ろうそく（役場）
- ・簡易間仕切り+暖ボール畳（備蓄倉庫）
- ・毛布 100枚（備蓄倉庫）
50枚（トмам支所）
- ・紙コップ・スプーン、皿など（備蓄倉庫）

※今年度は、トмам支所にアルファ米600食・遠赤石油ストーブ1台・特定原材料（アレルギー物質）非常食50食、備蓄倉庫に非常用糞尿処理セット10個・特定原材料（アレルギー物質）非常食50食を備蓄します。